

KUREHA

株主のみなさまへ



第93期中間事業報告書

2005年4月1日から2005年9月30日まで

株式会社 **クレハ**

ナケレバ、
ツクレバ。



KUREHA

2005年10月1日、[呉羽化学工業株式会社]は[株式会社クレハ]へ。

本社を移転いたしました。新住所:〒103-8552 東京都中央区日本橋浜町3-3-2

社名告知広告

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第93期事業年度(2005年4月1日より2006年3月31日まで)の中間事業報告書をお届けいたします。

当社は、昨年創立60周年を機に、2005年度を初年度とする「新中期経営計画Big Jump」(略称:「中計BJ」)を策定し、“新生クレハ”として新たなスタートを切るべく、「当社の目指すべき方向」、「企業理念」、「社員の行動基準」を三位一体とした「企業理念体系」を策定いたしました。さらに、新たなクレハ・ブランドの構築を目指し、本年10月より会社名を「株式会社クレハ」、(英文表記「KUREHA CORPORATION」)に変更いたしました。

当社およびグループ各社は「中計BJ」に沿って、事業ポートフォリオの継続的見直しと集中事業への重点的資源投入により、経営諸課題に取り組んだ結果、当中間期は期首に策定した利益計画を上回り、前年同期比で増収増益を達成することができました。また、通期につきましても、前期比増収増益となる見込みであります。当中間期の売上高は前年同期比1.9%増の621億4千1百万円となり、経常利益は前年同期比9.1%増の36億7千2百万円となりました。中間純利益につきましては、特別損失として固定資産除却売却損、構造改革費用引当金繰入等を計上しましたが、前年同期比8.7%増の15億2千5百万円となりました。

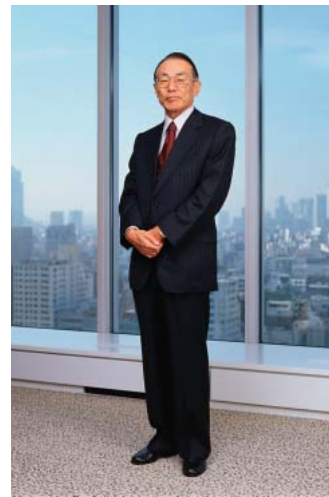
以上の状況のもと、当中間配当金は、当初の予定どおり1株につき4円とさせていただきます。

なお、本年11月、米国所在の当社子会社はモディファイヤー製品販売に関する米国連邦地裁における集団民事訴訟について、違法な行為は一切存在しないと確信しておりますが、係争の長期化による訴訟費用の増加や陪審裁判の予測困難性を考慮して、和解することが最善であると判断し原告団と和解いたしました。国内における塩化ビニル樹脂向けモディファイヤー製品販売に関する独占禁止法違反の疑いについては、本年7月、公正取引委員会より当社に対して課徴金納付命令が出されましたが、当社は審判手続きの開始を請求した結果、本年10月に審判開始決定がなされています。

株主のみなさまにおかれましては、「エクセレント・カンパニーを目指して挑戦し続けるクレハ」に対し、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2005年12月

代表取締役社長 田中 宏



Corporate Brand

新たな企業ブランドの構築を目指して。

社名は「株式会社クレハ」へ。

シンボルはブランドの意思を強調するデザインへ。

「呉羽化学工業株式会社」は、2005年10月から社名を「株式会社クレハ」としました。（“KUREHA CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD” から “KUREHA CORPORATION” へ）狭い意味での化学工業にとらわれないこと、誰にでも読みやすく、幅広いステークホルダーに親しまれること、それらを考慮した結果です。新たなブランドロゴは、グローバルに羽ばたこうとする「KUREHA」のブランドや技術を感じさせるクオリティーの高い書体でシンプルに表現したものです。また、矢印のラインパターンはクレハのたゆまぬ変革への挑戦と成長力をシンボライズしています。コーポレートカラーは独自に開発した「KUREHA NATURE GREEN」を採用。「理知的・気品・崇高」というカラーイメージから「人と自然を大切にする」企業理念を象徴しています。

コーポレート・ブランドロゴタイプ

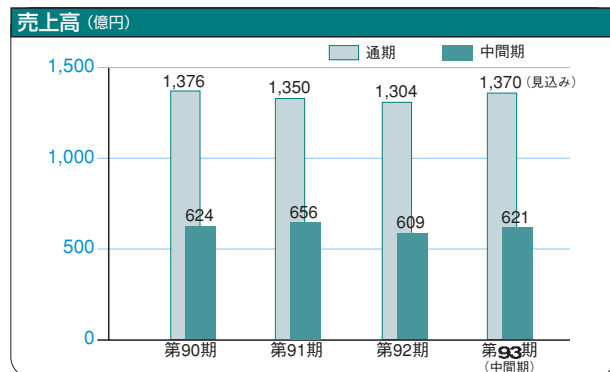


正式社名ロゴタイプ

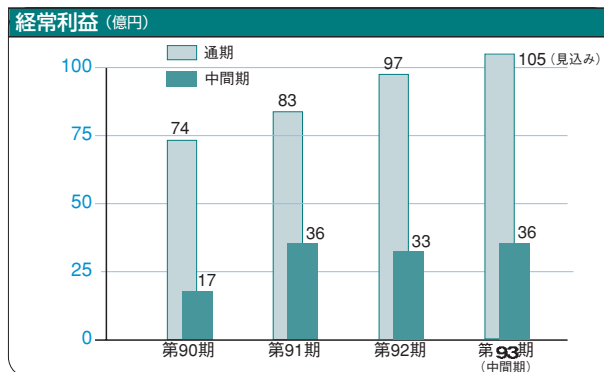
株式会社クレハ
KUREHA CORPORATION

		第90期 2002年度	第91期 2003年度	第92期 2004年度	第92期(前中間期) 2004年度	第93期(当中間期) 2005年度
売上高	(百万円)	137,647	135,020	130,400	60,967	62,141
営業利益	(百万円)	8,289	9,463	10,255	3,621	3,693
経常利益	(百万円)	7,473	8,320	9,705	3,365	3,672
中間(当期)純利益	(百万円)	1,453	4,183	4,467	1,403	1,525
総資産	(百万円)	173,129	173,295	172,727	170,915	173,471
株主資本	(百万円)	85,866	91,774	93,062	91,378	92,413
株主資本比率	(%)	49.6	53.0	53.9	53.5	53.3
1株当たり中間(当期)純利益	(円)	7.13	21.45	23.41	7.40	8.23
1株当たり株主資本	(円)	442.40	483.12	500.56	484.14	505.60

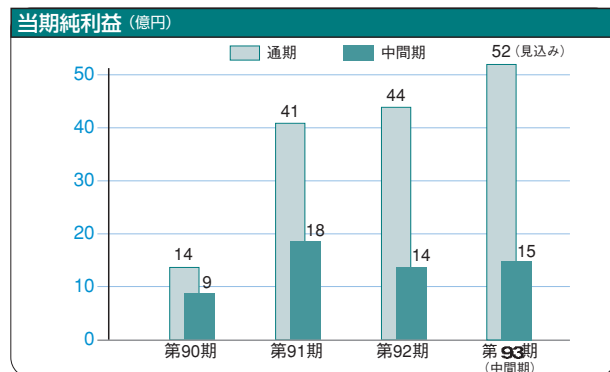
売上高 (億円)



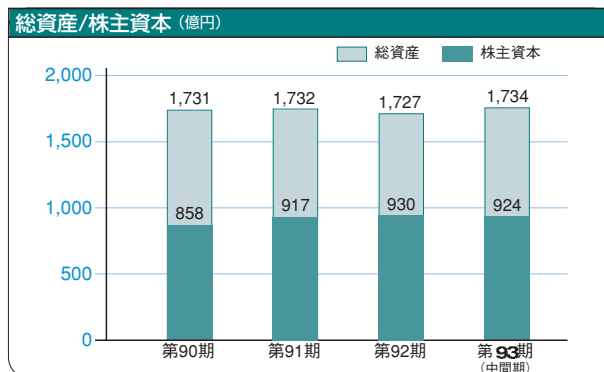
経常利益 (億円)



当期純利益 (億円)



総資産/株主資本 (億円)



機能製品事業

当セグメント の売上高	当中間期	構成比	前中間期	構成比
14,999(百万円)		24.1%	12,476(百万円)	20.5%

機能樹脂

- PPS樹脂
- ぶっ化ビニリデン樹脂
- 制電樹脂
- 機能性コンパウンド
- 光学材料
- 金属蒸着フィルム

炭素製品

- 炭素繊維
- 球状活性炭
- 特殊炭素材料

PPS樹脂は自動車用途および電気・電子素材用途の需要拡大によりフル操業が続いており、米国における合併事業も好調に推移し、売上げ、営業利益ともに前年同期に比べ増加いたしました。

ぶっ化ビニリデン樹脂は工業用素材用途の、機能性コンパウンドは電子材料用途の、それぞれ需要拡大により売上げは増加いたしました。設備および開発に係る投資負担が大きく、また、電池材料および光学材料は競争激化により売上げが減少し、これら製品の営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

球状活性炭については輸出が堅調であり、炭素繊維については熱処理炉用断熱材用途の需要拡大に加えて海外生産による加工費低減が進み、売上げ、営業利益ともに前年同期に比べ増加いたしました。

また、当期より電気・電子素材用途向けの金属蒸着フィルム製造子会社のセグメント区分を機能製品事業に変更したため、前年同期に比べ売上げは増加いたしました。需要先の在庫調整により営業利益への影響は軽微に留まりました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比20.2%増の149億9千9百万円となりましたが、営業利益は前年同期並みの16億4千6百万円となりました。



PPS樹脂製造プラント

化学製品事業

当セグメント の売上高	当中間期	構成比	前中間期	構成比
14,960(百万円)		24.1%	14,164(百万円)	23.2%

無機薬品

- か性ソーダ
- 塩酸
- 液体塩素
- 次亜塩素酸ソーダ

有機薬品

- モノクロルベンゼン
- パラジクロルベンゼン
- オルソジクロルベンゼン

医薬品

- クレマチン
- クレメジン

動物用医薬品

- コバルジン

農薬

- ラブサイド
- DDVP
- メトコナゾール
- イブコナゾール

農材

- 粒状培土
- 園芸培土

慢性腎不全用剤「クレマチン」、抗悪性腫瘍剤「クレマチン」はほぼ計画どおりに推移し、農業用殺菌剤「メトコナゾール」は販売価格低下があったものの、世界的な需要拡大が続き、この分野の営業利益は増加いたしました。

か性ソーダ・塩酸等は販売価格適正化の追加策に対して、さらなる原燃料価格高騰によりその効果が相殺されたものの、クロルベンゼン類は家庭用防虫剤用途向け需要が減少するなかで、立ち遅れていた原燃料価格高騰の製品価格転嫁が追いついてきて、この分野の営業利益は増加いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比5.6%増の149億6千万円となり、営業利益は前年同期比27.1%増の21億2千2百万円となりました。



クレマチン



メトコナゾール

樹脂製品事業

当セグメント の売上高	当中間期	構成比	前中間期	構成比
	21,964(百万円)	35.4%	24,410(百万円)	40.0%

食品包装材

- 塩化ビニリデン・フィルム
- 塩化ビニリデン・コンパウンド
- 熱収縮多層フィルム
- 非収縮多層フィルム
- 多層ボトル
- ハイバリアー・ラミネート基材

合成繊維

- びん化ビニリデン釣糸

家庭用品

- NEWクレラップ
- 流し台用水切りゴミ袋
- 掃除機用紙パック
- プラスチック製保存容器

包装機械

- 自動充填結紮機

塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルム、非収縮多層フィルム、多層ボトルの売上げは減少となり、ハイバリアー・ラミネート基材「ベセーラ」の売上げは微増となりましたが、欧州子会社の不振も加わって、この分野の営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

家庭用食品包装材「NEWクレラップ」は本年2月に2年連続のリニューアルを実施し、販売価格適正化に努めたこと、釣糸「シーガー」は流通在庫調整が一巡し、実需に見合う出荷となってきたため、売上げ、営業利益ともに前年同期に比べ増加いたしました。

金属蒸着フィルム、合成繊維等の産業資材分野では、前年同期に好調だった金属蒸着フィルム製造子会社のセグメント区分を機能製品事業に変更したため、売上げ、営業利益ともに前年同期に比べ減少いたしました。

中国向け塩化ビニリデン・コンパウンドは競争激化により販売価格低下を余儀なくされ、包装機械は売上げが減少し、営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は前年同期比10.0%減の219億6千4百万円となり、営業損失は前年同期比損失幅が拡大し2億1千5百万円となりました。



NEWクレラップ

その他事業

当セグメント の売上高	当中間期	構成比	前中間期	構成比
	10,217(百万円)	16.4%	9,916(百万円)	16.3%

環境関連分野は、前年同期に大型の環境修復工事があったことに加えて、産業廃棄物処理の競争激化により、売上げ、営業利益ともに減少いたしました。

建設関連分野は、大型工事の完工により売上げは増加いたしました。資材および外注費上昇により営業利益は減少いたしました。

運輸・倉庫関連分野は、厳しい受注環境のなか売上げを微増といたしました。燃料費高騰により営業利益は減少となりました。

以上の結果、本セグメントの売上高は前年同期比3.0%増の102億1千7百万円となり、営業利益は前年同期比7.3%減の4億2千3百万円となりました。



産業廃棄物焼却施設
(呉羽環境株式会社)

連結貸借対照表 金額(百万円)

資産の部		負債の部			
科目	当中間期(第93期) 2005年 9月30日現在	前期(第92期) 2005年 3月31日現在	科目	当中間期(第93期) 2005年 9月30日現在	前期(第92期) 2005年 3月31日現在
流動資産			流動負債		
現金および預金	5,150	6,001	支払手形および買掛金	15,350	16,786
受取手形および売掛金	28,871	32,035	短期借入金	26,048	25,209
たな卸資産	19,730	18,693	未払費用	3,457	3,792
繰延税金資産	2,079	1,588	賞与引当金	1,914	1,616
その他	4,800	3,208	その他	10,787	10,310
流動資産計	60,630	61,525	流動負債計	57,556	57,713
固定資産			固定負債		
有形固定資産			長期借入金	11,882	9,651
建物および構築物	24,717	24,450	退職給付引当金	2,517	2,930
機械装置および運搬具	21,980	20,625	繰延税金負債	6,211	6,243
その他	23,288	24,214	連結調整勘定	972	966
有形固定資産計	69,985	69,289	その他	1,199	1,375
無形固定資産	2,049	2,091	固定負債計	22,781	21,165
投資その他の資産			負債合計	80,338	78,879
投資有価証券	29,281	29,223	少数株主持分	720	785
繰延税金資産	1,617	1,321	資本の部		
その他	9,908	9,276	資本金	12,460	12,460
投資その他の資産計	40,806	39,820	資本剰余金	9,858	9,715
固定資産計	112,841	111,201	利益剰余金	64,629	64,083
			その他有価証券評価差額金	9,667	9,554
			為替換算調整勘定	▲532	▲616
			自己株式	▲3,670	▲2,136
資産合計	173,471	172,727	資本合計	92,413	93,062
			負債・少数株主持分・資本合計	173,471	172,727

資産合計

流動資産は減少し、生産能力増強投資により有形固定資産は増加、テナントビル入居等により投資が増加し、差引きで資産合計は前期に比べ7億4千4百万円増加いたしました。

負債合計

有利子負債は30億6千9百万円増の379億3千万円となり、仕入債務等は減少、構造改革費用引当金を計上し、差引きで負債合計は前期に比べ14億5千8百万円増加いたしました。

少数株主持分・資本合計

子会社持分比率上昇により少数株主持分は減少、利益剰余金の増加、自己株式の一部売却およびこれに伴う資本剰余金の増加に対して、自己株式取得が大きく、資本合計は減少いたしました。

連結損益計算書 金額(百万円)

科目	当中間期(第93期) 2005年4月1日から 2005年9月30日まで	前中間期(第92期) 2004年4月1日から 2004年9月30日まで
売上高	62,141	60,967
売上原価	44,346	43,168
売上総利益	17,795	17,799
販売費および一般管理費	14,101	14,177
営業利益	3,693	3,621
営業外収益	593	425
営業外費用	614	681
経常利益	3,672	3,365
特別利益	1,025	762
特別損失	2,155	1,528
税金等調整前中間純利益	2,542	2,599
法人税・住民税および事業税	1,786	1,059
法人税等調整額	▲835	72
少数株主利益(減算)	65	63
中間純利益	1,525	1,403

連結キャッシュ・フロー計算書 金額(百万円)

科目	当中間期(第93期) 2005年4月1日から 2005年9月30日まで	前中間期(第92期) 2004年4月1日から 2004年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,086	2,468
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲5,555	▲5,671
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,641	1,859
現金および現金同等物に係わる換算差額	▲19	▲6
連結範囲の変更による 現金および現金同等物の増加額	—	13
連結子会社の決算期変更による 現金および現金同等物の減少額	▲4	▲422
現金および現金同等物の増減額	▲851	▲1,758
現金および現金同等物の期首残高	6,001	7,584
現金および現金同等物の中間期末残高	5,150	5,825

経常利益

原燃料高、設備投資増による償却費増、欧州包材事業の不振はありましたが、スペシャリティ製品拡販、販売価格適正化、販管費節減による営業利益増に加え、受取配当増等により経常利益増となりました。

主な連結対象会社 (2005年9月30日現在)

■機能製品事業(全6社)

クレハ・ケミカルズGmbH
クレハ・コーポレーション・オブ・アメリカ
クレハ・ケーピーエスInc.
加古川プラスチック(株)
レジナス化成(株)
上海呉羽化学有限公司

■化学製品事業

ルトガス・クレハ・ソルベンツGmbH
(持分法適用会社)

■樹脂製品事業(全8社)

クレハプラスチック(株)*
クレハ合繊(株)*
クレハ エクステック(株)
クレハロン・インダストリーB.V.
クレハ・ヨーロッパB.V.
その他 3社

■その他事業(全19社)

呉羽環境(株)
(株)クレハ分析センター
(株)クレハエンジニアリング*
クレハ建設(株)
呉羽運輸(株)
錦商事(株)
クレハサービス(株)*
その他 12社

*10月1日社名を変更いたしました。

営業活動による
キャッシュ・フロー

流動負債の減少幅が前期に比べ小さかったこと、法人税等の支払額の減少等により、前年同期に比べ6億1千7百万円の収入増加となりました。

投資活動による
キャッシュ・フロー

生産能力増強および発電設備更新工事等の設備投資は微減、株式売却減、設備売却増、その結果、前年同期に比べ1億1千6百万円の支出減少となりました。

財務活動による
キャッシュ・フロー

中間配当実施により期末配当減、自己株式取得増、有利子負債増加幅微増、その結果、前年同期に比べ2億1千8百万円の収入減となりました。

貸借対照表 金額(百万円)

資 産 の 部		
科 目	当中間期(第93期) 2005年 9月30日現在	前期(第92期) 2005年 3月31日現在
流動資産		
現金および預金	3,021	3,436
受取手形および売掛金	18,419	19,719
たな卸資産	12,944	12,790
その他	9,076	7,943
流動資産計	43,461	43,890
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,010	9,926
機械および装置	17,344	16,149
土地	7,328	7,328
その他	15,308	15,260
有形固定資産計	49,991	48,664
無形固定資産	1,745	1,930
投資その他の資産		
投資有価証券	34,679	33,975
出資金	3,016	3,013
その他	5,823	5,525
投資その他の資産計	43,519	42,514
固定資産計	95,256	93,109
資産合計	138,717	136,999

資産合計

流動資産は減少し、生産能力増強投資および子会社株式買い増しにより固定資産は増加、差引きで資産合計は前期に比べ17億1千7百万円増加いたしました。

負 債 の 部		
科 目	当中間期(第93期) 2005年 9月30日現在	前期(第92期) 2005年 3月31日現在
流動負債		
買掛金	6,932	7,058
短期借入金	17,346	16,106
その他	11,795	12,227
流動負債計	36,074	35,393
固定負債		
長期借入金	9,895	7,701
その他	5,954	5,989
固定負債計	15,850	13,691
負債合計	51,924	49,084
資 本 の 部		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	9,703	9,703
利益剰余金	59,244	58,685
(うち中間(当期)純利益)	(1,544)	(3,167)
評価差額金	8,549	8,508
自己株式	▲3,164	▲1,442
資本合計	86,793	87,915
負債・資本合計	138,717	136,999

負債合計

有利子負債は34億3千3百万円増の272億4千1百万円となり、仕入債務等は減少、構造改革費用引当金を計上し、差引きで負債合計は前期に比べ28億3千9百万円増加いたしました。

資本合計

利益剰余金は増加、株式評価差額金は微増に対し、自己株式取得による控除額が大きく、資本合計は前期に比べ11億2千1百万円減少いたしました。

損益計算書 金額(百万円)

科目	当中間期(第93期) 2005年4月1日から 2005年9月30日まで	前中間期(第92期) 2004年4月1日から 2004年9月30日まで
経常損益の部		
営業損益の部		
売上高	39,268	38,164
売上原価	25,123	24,168
販売費および一般管理費	11,407	11,712
営業利益	2,737	2,283
営業外損益の部		
営業外収益	911	753
営業外費用	551	535
経常利益	3,097	2,501
特別損益の部		
特別利益	660	715
特別損失	1,474	1,291
税引前中間純利益	2,282	1,925
法人税、住民税および事業税	1,125	640
法人税等調整額	▲387	264
中間純利益	1,544	1,020
前期繰越利益	14,304	12,690
中間未処分利益	15,849	13,711

経常利益

原燃料高、設備投資増による償却費増はありましたが、スペシャルティ製品拡販、販売価格適正化、販管費節減による営業利益増に加え、受取配当増等により経常利益増となりました。

コンプライアンス経営(法令および社会規範の遵守)

当社グループでは信頼される企業グループを目指し、法令遵守を含む、役員および従業員の行動指針として2003年6月に「クレハグループ倫理憲章」を制定し、企業倫理の確立による健全な事業活動に向け取り組んでいます。業務運営を適正かつ効率的に遂行するために会社業務の意思決定および業務実施に関する各種社内規程を定めるなどにより、職務権限の明確化と適切な牽制が機能する体制を整備しています。

さらに、これらの体制に実効性を持たせるため、体制の概要、行動基準、コンプライアンス相談窓口の利用方法などをまとめた小冊子「コンプライアンス・ハンドブック」を作成し、役員・従業員に配布のうえ、教育を行いました。また、社長直属の内部監査部を設置し、経営効率および社会的信頼度の向上を目的として、コンプライアンスやリスク管理体制を含む内部統制の評価、検証および改善を実行しております。関係法令の遵守のみに留まらず社会的規範に則って行動する企業グループを目指し、コンプライアンス重視の企業風土を徹底するため体制の整備・強化を進めております。

個人情報保護

本年4月に施行された個人情報保護法への適切かつ迅速な対応を行う観点から、当社では個人情報保護コンプライアンス・プログラムを制定いたしました。このプログラムは個人情報保護方針（プライバシーポリシー）※を定め、日常の情報管理の組織体制、個人情報保護規程を中心とする基本規程の整備およびその周知徹底を図る教育から成り立っています。また、コンプライアンス委員会の下部組織に個人情報保護委員会を設置し、改善を図っております。

※個人情報保護方針は当社ホームページ

<http://www.kureha.co.jp/> に掲載しております。

本社移転および事業所名変更について

当社は本年10月1日より会社名を「株式会社クレハ」に変更するとともに、以下のとおり本社を移転し、また、併せて錦工場および錦総合研究所の名称を変更いたしました。

●本社移転先

〒103-8552

東京都中央区日本橋浜町3-3-2

(トルナーレ日本橋浜町 オフィス棟 15階～18階)

●事業所名変更

(旧名称)

錦工場

錦総合研究所

(新名称)

いわき工場

総合研究所



本社（トルナーレ日本橋浜町 オフィス棟）



いわき工場



会社の概要

商号	株式会社クレハ*
本店	東京都中央区日本橋浜町3-3-2*
設立	1944年6月21日
資本金	12,460百万円
従業員数	1,395名
ホームページ	当社の概要および決算公告等は当社のホームページにも掲載しておりますので、こちらでもご覧いただけます。

<http://www.kureha.co.jp/>



*10月1日より変更しております。

事業所

支店	大阪支店
営業所	名古屋営業所、福岡営業所、札幌営業所、仙台営業所、いわき営業所(福島県いわき市)
工場	いわき工場*(福島県いわき市)
研究所	総合研究所*(福島県いわき市) 生物医学研究所(東京都新宿区) 包装材料研究所(茨城県新治郡)

*10月1日より変更しております。

役員および監査役 (2005年9月30日現在)

取締役会長	天野 宏
代表取締役社長	田中 宏
代表取締役副社長	加治 久継
代表取締役副社長	内山 正樹
代表取締役専務	富澤 藤利
常務取締役	藤井 雅彦
常務取締役	萩野 弘二
取締役	岡本 恒夫
取締役	鈴木 直哉
取締役	重田 昌友
取締役	岩崎 隆夫
取締役	水野 俊夫
取締役	宗像 敬吉
取締役	小林 豊
取締役	佐川 正
監査役(常勤)	高岡 龍一
監査役(常勤)	小杉 淳一
監査役(社外、常勤)	平野 恭昌
監査役(社外)	木村 和俊

株式の状況 (2005年9月30日現在)

会社が発行する株式の総数	608,932,000株
発行済株式の総数	190,533,909株
株主数	20,366名

大株主の状況 (2005年9月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	出資比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	16,077	8.4
明治安田生命保険相互会社	13,746	7.2
東京海上日動火災保険株式会社	13,368	7.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,769	5.6
株式会社みずほコーポレート銀行	7,039	3.6
三共株式会社	5,830	3.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	4,592	2.4
丸紅株式会社	4,462	2.3
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託A口)	3,466	1.8
株式会社損害保険ジャパン	3,359	1.7

注)当社は自己株式6,940千株を保有しておりますが、上記大株主からは除いております。

株価および出来高の推移

株価(円)

600

550

500

450

400

350

2004年

4

5

6

7

8

9

10

11

12

2005年

1

2

3

4

5

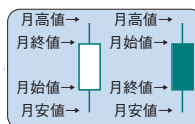
6

7

8

9

10月



出来高
(千株)

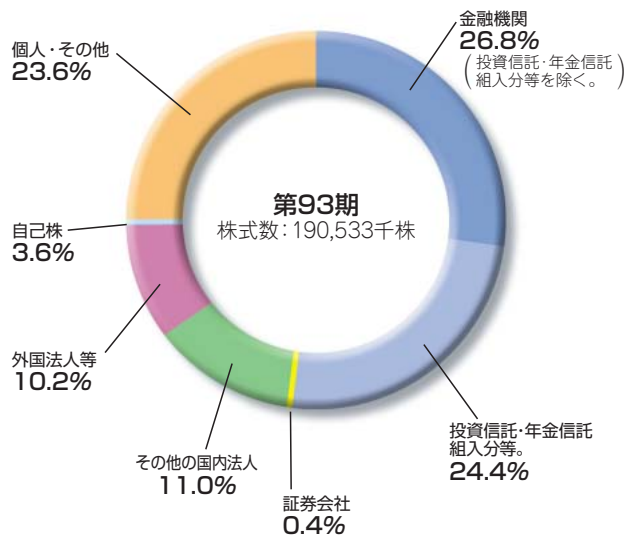
20,000

15,000

10,000

5,000

株式の所有者別構成比 (2005年9月30日現在)



遠距離恋愛1年半の私は

「アレハ切れてた」と初めて彼氏に嘘をつき

朝帰りして冷めたクレハに

クレハかけてチンしながら

指のきれいなきのうの男を思い出して

クレハをぐっと握ったもんだから

白シャツを真っ赤にそめて会社に遅刻

クレハで最近調子のいい上司に怒られ

深夜までクレハ相手に仕事して帰ると

玄関の前に彼氏から届いたきれいなクレハ

今日私の誕生日だったんだ…

とクレハを二気に飲みほしたらピンポーン

ドアを開けるとクレハを走らせてきた彼氏が

突然プロポーズなんてするから

かじりかけのクレハを放り出して私は――



遠距離恋愛1年半の私は

「携帯の充電切れてた」と初めて彼氏に嘘をつき

朝帰りして冷めたごほんに

クレハツかけてチンしながら

指のきれいなきのうの男を思い出して

ケチャップをぐっと握ったもんだから

白シャツを真っ赤にそめて会社に遅刻

薬で最近調子のいい上司に怒られ

深夜までコピー機相手に仕事して帰ると

玄関の前に彼氏から届いたきれいな花束

今日私の誕生日だったんだ…

と炭酸水を二気に飲みほしたらピンポーン

ドアを開けるとクルマを走らせてきた彼氏が

突然プロポーズなんてするから

かじりかけのソーセージを放り出して私は――

生きてゆくにはクレハがいる。

世の中の変化は想像以上に速い。一日が次々起こる出来事で、みるみる変わっていくように。今あなたに必要なモノは何だろう？ 私たちはいつもそれを本気で考えて独創的なアイデアを形にし、時代が望む製品を高い技術力でつくりつづけてきました。（会社が生まれた61年前、携帯電話の部品をつくるなんて誰も予想しなかった）

そして今年、私たちの会社は大きく変わります。ナケレバ、ツクレバ。変わっていく社会を支える呉羽化学から、社会を変えていくクレハへ。あなたのドラマがもっと新しくなりますよ、きっと。

KUREHA

2005年10月1日、[呉羽化学工業株式会社]は[株式会社クレハ]へ。
本社を移転いたしました。新住所：〒103-8552 東京都中央区日本橋浜町3-3-2

ナケレバ、
ツクレハ

社名告知広告

株式会社クレハ

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
利益配当金支払 株主確定日	3月31日
中間配当金を支払う 場合の株主確定日	9月30日
公告掲載新聞名	日本経済新聞
名義書換代理人	東京都中央区八重洲1-2-1 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲1-2-1 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先) (電話お問い合わせ先)	〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324(フリーダイヤル)
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインバスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

お知らせ

商号変更に伴い、お手許に所持(証券会社に保護預りに出されている株券も含みます)されている「旧商号“呉羽化学工業株式会社”」の株券を「新商号“株式会社クレハ”」の株券に交換しております。「株券交換」の対象となる株主様には既に株券引換のご案内をお届けしておりますが、まだ手続きがお済みでない方は2006年3月27日までに手続きをおとりください。ただし、株券を証券保管振替機構に預託されている株主様は、手続きの必要はありません。詳しくは上記の“みずほ信託銀行(株)証券代行部”にお問い合わせください。



古紙配合率100%再生紙を
使用しています



大豆油インキで印刷しています。